

あつま 生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話27-2495

主な記事

- ・第2回「子ども教育委員会」を開催
- ・始めよう！コミュニティ・スクール
- ・厚真町英語暗唱大会
- ・米国領事館首席領事来町
- ・平成28年度児童生徒芸術等鑑賞会のお知らせ
- ・図書室だより
- ・放課後子ども教室活動紹介

第2回「子ども教育委員会」が開催されました

～「アウトメディア宣言」全員一致で採択！～

7月25日、総合ケアセンターゆくりで、第2回目となる「子ども教育委員会」が開催されました。

町内の小中学校の児童会・生徒会役員17人が出席し、電子メディアの利用について意見交換が行われ、各学校で考えてきた宣言案を出し合い、宣言文の作成を行いました。

アウトメディアとは、電子メディアにふれる時間（利用する時間）を減らすことを言います。電子メディアを取り上げたり、禁止したりすることではありません。電子メディアを上手に利用して、利用時間を減らし、自分の時間や家族の団らん、人と人とのつながりの時間を大切にしようというものです。

第2回「子ども教育委員会」では、自分たちの心と体を守り、基本的な生活習慣を身につけられるようにするためには、電子メディアとの接触を減らすことが必要だと考え、右記の「アウトメディア宣言」が採択されました。

今後、各小中学校の児童会や生徒会で自主的な取り組みが行われる予定です。



◆小学校アウトメディア宣言
『平日は「メディアをやめられない病」に負けないで、先に勉強するルールを作ろう！』
（今日は何をしようかな？ 何分間やろうかな？ 昨日はどれだけやったかな？）
『メディアをへらして、友だちや家族と過ごそう！』
（公園で遊ぶ。友だちとサイクリングをする。みんなでカードゲーム。団らん（会話やゲーム）。）

◆中学校アウトメディア宣言
『個人で、将来のためにメディアとのつきあい方を考える』
① 周囲の人と協力しよう。
（メディアを長時間使っている人がいたら、「一緒に勉強しよう。」などと声かけをしよう。）
② 具体的に目標数字を掲げ、アウトメディアに取り組もう。
（メディアを長時間使っていたら、保護者に声をかけてもらおう。）
③ 電子メディア以外に楽しめるもの（スポーツなど）を見つけよう。

厚真町英語教育研究大会を開催します

上厚真小、厚南中の児童・生徒が英語を使いイキイキと学ぶ姿を保護者や地域の皆さんもご覧ください

- | | | | |
|-----|-------------|-------|----------------------------|
| ■期日 | 9月2日（金） | ■会場 | 第1会場：上厚真小学校 第2会場：厚南中学校 |
| ■日程 | 10：20～11：05 | 公開授業Ⅰ | （上厚真小4年英語活動、1年Eタイム） |
| | 10：15～12：00 | 公開授業Ⅱ | （上厚真小6年コミュニケーション科、3年Eタイム） |
| | 13：10～14：00 | 公開授業Ⅲ | （厚南中1年コミュニケーション科、3年英語科） |
| | 14：10～15：00 | 授業分科会 | （厚南中、テーマ：コミュニケーション、英語活動等） |
| | 15：10～16：20 | 講演 | （厚南中、講師：文部科学省教科調査官 直山木綿子氏） |

始めよう！コミュニティ・スクール～地域とともにある学校を目指して

NO. 1

厚真町教育委員会では、未来を「生き抜く」子供たちの「育ち」と「学び」の充実を図るために、コミュニティ・スクール（学校運営協議会）の導入に向けて、「厚真町学校運営協議会設立準備委員会」を発足させました。コミュニティ・スクール（以下「C・S」）とは、学校運営や学校の課題に対して、広く保護者や地域の皆さんが参画できる仕組みです。第2回目の設立準備委員会では、文部科学省のCS推進委員（CSマイスター）で北海道大学学務部長の出口寿久氏をお迎えして、『地域とともにある学校づくり～地方創生とコミュニティ・スクール～』を演題に講演会を開催しました。CSとは、保護者や地域の住民が学校運営に参画する「学校運営協議会」の置かれた学校のことで、学校運営協議会は①校長の作成する学校運営の基本方針を承認する②学校運営について、教育委員会や校長に意見を言うことができる③教職員の任用に関し、教育委員会に意見を言うことができる、の主な3つの役割を担います。出口氏からは、CSの設置についての具体的な方策と活用についての説明や、先進地の事例などを踏まえ、分かりやすく説明



をいただきました。ポイントは、学校運営に当たり PTA や地域住民の意見を聞き、それを受けて学校と地域が一体となり子供たちの豊かな成長を促す、学校・家庭・地域の協働体制づくり、『学校応援団』づくりであるということです。今後も、推進委員を中心に先進地視察や研修会への参加など、CSについての理解を深めていきますので、生涯学習だよりを通じて地域の皆様へお伝えします。

感謝の気持ちを込めて

町では、「厚真町の夢のある英語教育」を目指して、外国の方との交流の場を多く設け、生徒の英語活用を増やしてきました。

その一環として、アメリカの文化や領事館の仕事について学ぶことも含め、平成27年2月から米国領事館首席領事ジョエレン・ゴーク氏を町内2中学校に迎えての交流、2年生の宿泊体験学習では領事館訪問等を実施してきました。この8月をもって、ゴーク氏が離任されることとなり、ゴーク氏を迎えての最後の交流を行いました。生徒からは感謝の気持ちを込めた寄せ書きと花束が贈られました。



↑ 首席領事を囲んで

厚真町英語暗唱大会

8月9日、総合ケアセンター「ゆくり」を会場に厚真町英語暗唱大会が開催されました。

小学生3人と中学生11人が参加、練習した成果をもとに、とても流暢な英語で発表しました。

小学生の部と中学校1年生の部は発表会として行われました。中学校2～3年生の部は、コンテストとして実施され、上位3人が10月に実施される胆振大会への出場権を得ました。

中学校2～3年生の部門の結果

- 1位 金澤美玖（厚真中学校 3年）
- 2位 長門実空（厚南中学校 3年）
- 3位 山野下明音（厚真中学校 2年）
- 4位 森山明日香（厚南中学校 3年）



文化祭展示作品募集

11月3日(木)(文化の日)4日(金)に「厚真町文化祭」が総合福祉センターをはじめ各施設で開催されます。

文化祭実行委員会では、町民の皆さんから様々な展示作品を広く募集しています。

なお、展示スペースに限りがありますので展示を希望される方は、9月14日【水】までにお申し込みください。

◆問合せ

教育委員会内 文化協会事務局
☎27-2495 担当 宮下



7月定例教育委員会

7月29日に開催された定例教育委員会の主な会議内容についてお知らせします。

◆報告事項

議会議員町内行政視察、第1回厚真町教育委員会外部評価委員会についてなど(20件)

◆協議事項

海外修学旅行について(1件)

◆その他

教育委員道内視察研修についてなど(2件)

★問合せ

教育委員会 学校教育グループTel27-2494

エレンさんの英会話教室

アメリカ出身の町ALT(外国語指導助手)エレンさんによる9月～11月期の英会話教室が開講します。途中からの参加も可能ですので、参加希望の方は事前に申し込みをお願いします。

◆日程 9月1日～11月17日までの毎週木曜日 全10回

◆時間 午後6時30分から7時30分

◆場所 青少年センター2階 研修室

◆対象 英会話に興味のある中学生以上の町民の方

◆申込み 教育委員会 社会教育グループ

◆問合せ Tel 27-2495

厚真町民吹奏楽団設立30周年記念事業

厚真中学校吹奏楽部&厚真町民吹奏楽団 ジョイントコンサート

厚真町民吹奏楽団の設立30周年を記念したコンサートが開催されます。

日本や外国のポップス、マーチなどおなじみの曲を演奏しますので、多数ご来場ください。

と き 10月1日(土)

開場 午後3時30分

開演 午後4時

ところ 厚真町総合福祉センター 大集会室

内容 第1部 厚真町民吹奏楽団演奏

第2部 厚真中学校吹奏楽部演奏

第3部 合同演奏

入場料 無料



平成28年度児童生徒芸術等鑑賞会

今年度は北星学園女子中学高等学校校長、浅里慎也氏を中心としたプロの声楽家4人による声楽、オーボエ・ヴァイオリン・ピアノ各1人のプロの演奏家による演奏を行います。一般町民の皆さんにも開放しますので、ぜひご来場ください。

と き 9月5日【月】

[午前の部]午前10時30分開演

[午後の部]午後 1時20分開演

ところ 上厚真小学校講堂

演 目 新世界より：ドヴォルザーク

四季より「春」：ヴィヴァルディ

君をのせて：「天空の城ラピュタ」より

麦の歌：中島みゆき

七つの子：童謡 他多数

主 催 厚真町教育委員会

問合せ 教育委員会 社会教育グループ ☎27-2495



浅里慎也氏

国立音楽大学声楽科卒業。ドイツ・ノルトライン・ヴェストファーレン州立音楽大学専攻科修了。現在、北星学園女子中学高等学校校長、札幌室内歌劇場理事長。

図書室だより

青少年センター図書室

TEL 27-2495 (平日)

絵本であたたかな触れ合いを

毎月第4木曜日におはなしのびっ子さんのご協力をいただいて、読み聞かせ会を開催しています。月に1回なので、赤ちゃんがつかまり立ちをしていたり、ハイハイが上手になっていたり成長している様子を拝見するのがとても楽しみです。

先日の会で、ストーリーがあり0歳児には難しいかなと思った絵本があったのですが、赤ちゃんは読み手の顔をずっと見ていました。赤ちゃんの表情は、この人は何か音をだしているな、といった不思議そうな様子でしたが、言葉は分からなくても自分へ語りかけてくれているということは理解しているようでした。

厚真町では、ブックスタートという事業に取り組んでいます。絵本を読む時間をご家庭でもという思いを込めて赤ちゃんへ絵本を2冊プレゼントします。乳児健診にお邪魔して、事業の取り組みについて説明をさせていただき、その場で絵本をお渡ししています。

テレビやスマートフォンで子どもをあやすのは駄目というわけではありません。読み聞かせでは真似できない動く映像や迫力ある音声など、わくわくするような仕掛けがあります。しかし、絵本は紙の感触があり、またお話をお子さんのペースで読み進めることができる点が魅力です。なにより、一番身近な存在のお母さんお父さんの声と体温はどんなアプリケーションにも真似することができない大切な要素であると思います。秋からのブックスタートセットの中にもメディアと育児について書かれた小冊子を同封させていただきます。ぜひ目を通していただいて、育児の際の絵本とメディアの使い分けの参考にさせていただければと思います。



青少年センターからの
お知らせ

夜間プラネタリウム投映会 初秋の星空を眺めよう



9月は、夏の星座と秋の星座を一緒に見ることができます。

今月は、初秋に見える代表的な星座を紹介していきます。

と き 9月16日(金) 午後6時30分

※晴天の場合は引き続き天文台で観望会を開催。土星・火星・月などを観察できます。

ところ 青少年センター2階プラネタリウム室・天文台

※夜間開催のため、小・中学生のみでの参加の場合は保護者の同伴もしくは送迎が必要です。

問合せ 教育委員会社会教育グループ TEL 27-2495




新着図書紹介



ここで紹介した以外にも新着図書がありますので、ぜひ図書室までお越しください。

一般書 『陸王』 池井戸 潤/著



池井戸潤の新作は、老舗の足袋製造会社が主人公です。本作に登場する新素材は架空のものですが、作っている会社を紹介してほしいと問い合わせがあったそうです。

- ・鼠、地獄を巡る 赤川 次郎/著
- ・鬼手 小早川秀秋伝 大塚 卓嗣/著
- ・遺産 上・下 笹本 稜平/著
- ・暗幕のゲルニカ 原田 マハ/著


児童書 『星と星座をみつけよう』 森 雅之/著



夜、空には星が瞬いています。眺めているだけでも十分楽しいのですが、星の名前がわかると楽しくなり、そこから星座を見つけることも簡単になります。

- ・ウソのような現実の大図鑑 アンドレア・ミルズ/作
- ・アラルエン戦記 1～8巻 ジョン・フラナガン/作
- ・ひみつのきもちぎんこう ふじもとみさと/作


実用書 『鉱物レシピ』 さとう かよこ/著



美しい鉱物の写真が並び、眺めているだけでとても楽しいのですが、アクアリウムように飾ったり、本型の小さな標本箱をつくったりと楽しみ方も掲載されています。作って飾りたくなるような鉱物本をお楽しみください。

- ・DIYで軽トラを10倍楽しむ本
- ・わが家は低塩・無添加のお漬物 大島貞雄/著
- ・定年就農 神山 安雄/著
- ・ゴジラとエヴァンゲリオン 長山 靖生/著

絵本 『かあかあもうもう』 丹治 匠/さく



カラスと牛が、気持ちよく歌を歌っています。その歌声はいつしか大声合戦になってしまいました。この絵本はぜひ一緒に声を出しながら読んであげてください。きっと楽しいですよ。

- ・くるくるくる 新井 洋行/作
- ・お化けの迷路 香川 元太郎/作・絵
- ・ポタンちゃん 小川 洋子/作

～図書室からのお知らせ～

■9月の休館日

19日(月) 敬老の日
22日(木) 秋分の日

■青少年センター図書室開館時間

午前9時から午後5時(月・水・金・土・日)
午前9時から午後7時(火・木)

■厚南会館図書室

午前9時から午後5時(月～日)
※毎月5日・20日が土日・祝日の場合は休館です。

■9月の移動図書

上厚真小学校
午前10時10分～25分
8日【木】 16、23日【金】

ともいき荘

21日【水】 午後2時00分～2時30分

■絵本の読み聞かせ おはなしのびっ子

場所：青少年センター 絵本コーナー
29日【木】 午前10時30分～11時

☆放課後子ども教室☆

楽しい時間はあっという間に過ぎるもの。夏休みも終わり、長い2学期が始まります。夏らしい暑さが続いた8月でしたが、見上げる空には秋の気配も感じる今日この頃です。大きな事故やケガがないよう、2学期の活動も進めていきたいと思ひます。

夏休み中、通常の活動はお休みとなっていました。2プログラム3日間の夏休み特別教室を行いました。今年が発達段階に合わせ、低学年(1~3年生)は自然体験活動を、高学年(4~6年生)は地域密着型職業体験のプログラムをそれぞれに実施しました。

高学年の活動では、今年もともいきの里夏祭り会場にて、子どもたちが自分の手でつくるお店『あつまっ子カフェ』の開店を目指し、7月27日(水)と28日(木)の2日間にわたり奮闘しました。3年目となった本プログラム。これまでの活動を踏まえ、今年には販売する商品に自分たちで値段をつけるという活動にチャレンジです。1日目には、お店の開き方基礎講座を受け、商品の値段を考えるプログラムを行いました。値段=商品の価値。原価を考慮し、商売のプロである商工会青年部員の方にアドバイスをもらいます。お店を運営する側の視点だけではなく、お客さん目線も取り入れようと市場調査にも出かけました。本番当時は朝からあいにくの空模様でしたが、商品の仕入れから会場設営、看板や宣伝媒体(商品を知らせるポップなど)の作成と準備を進めます。今年、用意した商品は稲菓さんでつくっていただいた米粉パンを使ったホットドック、あんパンや豆パンなど米粉パン各種、土居ハスカップ農園さん特製のハスカップシロップでつくるハスカップソーダです。足元の悪い中、オープンと同時にたくさんのお客さんにご来店いただきました。子どもたちも大きな声で「いらっしゃいませー!」と呼び込みをしたり、接客をしたり、一生懸命に頑張りました。商品は無事、完売となり、子どもたちもやりきったという達成感を味わっていたようです。こうした活動ができるのも、地域で子どもを育てるといふ意識と環境があるからにほかなりません。ご協力をいただいたすべての皆様に改めてお礼を申し上げます。



今年も大成功☆ありがとうございました!

8月に入り1週目の土曜日、低学年チームは川遊びプログラムに出発です。おとなりのむかわ町穂別にある河原へ出かけました。本格的な川遊びは初めてという子どもたち。外気温に比べると水温は低く、プールと違って流れもあります。それでもボート遊びや魚とりなど、色々な遊びを組み合わせ、寒さと自分の体力をコントロールしながら、たくましく遊んでいる姿が印象的でした。普段はとても澄んだ水面の鵜川ですが、この日は先日の大雨の影響でまだ少し濁りが残っている状況だったのが残念です。また今度、優しい青色をした鵜川に会いに行きたいと思ひます。

